

潮間帯生物(動物)の現存量(個体数、被度)

(ベルトランセク外法による調査結果)

高潮帯

SL-1 (捨石工)

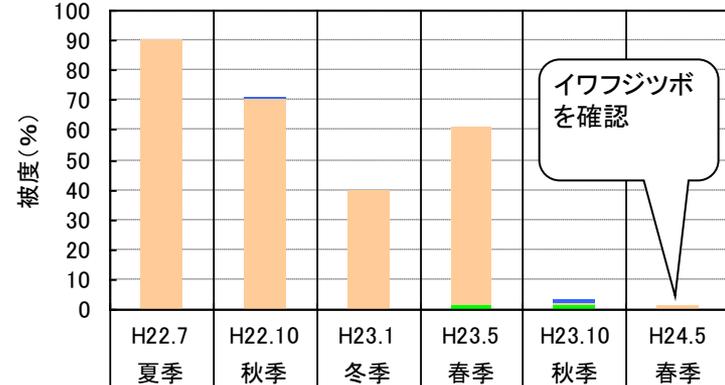
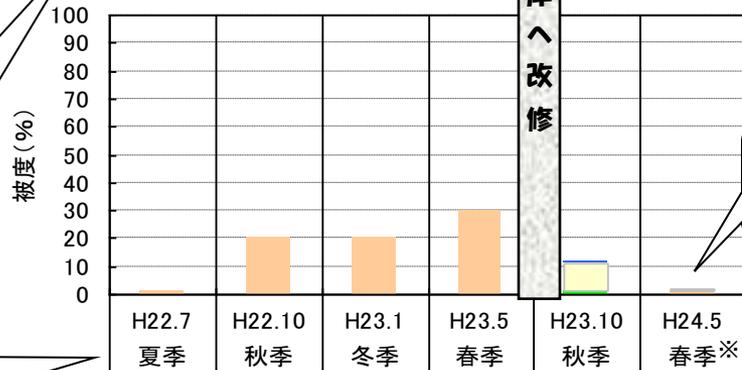
個体数/m²

SL-2 (既設護岸：未着手)

個体数/m²

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季※
タテジマイソギンチャク						
タマキビ	160	840	20	1024		
アラレタマキビ	144	40		100		
イボニシ		12				
カラマツガイ						
フナムシ属						

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季
タテジマイソギンチャク				4	4	
タマキビ	8	128		392		
アラレタマキビ	32			32		16
イボニシ		12			140	20
カラマツガイ				4		
フナムシ属					4	



出現状況を
"個体数"で
表す生物種
(時期は下
グラフの横
軸に対応)

出現状況を
"被度"で表
す生物種

イワフジツボ、
シロスジフジツボ
を確認

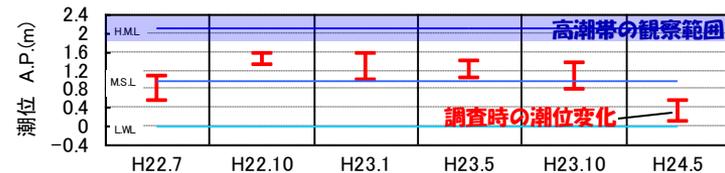
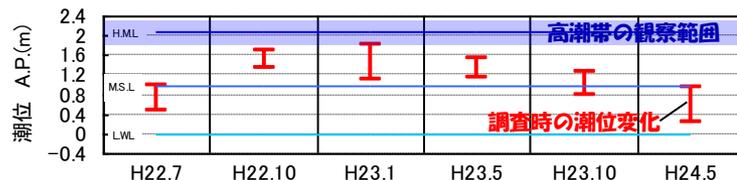
イワフジツボ
を確認

■ マガキ ■ イワフジツボ ■ シロスジフジツボ ■ タテジマフジツボ

■ マガキ ■ イワフジツボ ■ タテジマフジツボ

※H24.5は工事により石積護岸部が改変していたため、代替測線での調査結果を示す

調査時の潮位



潮間帯生物(動物)の現存量(個体数、被度)

(ベルトランセク法による調査結果)

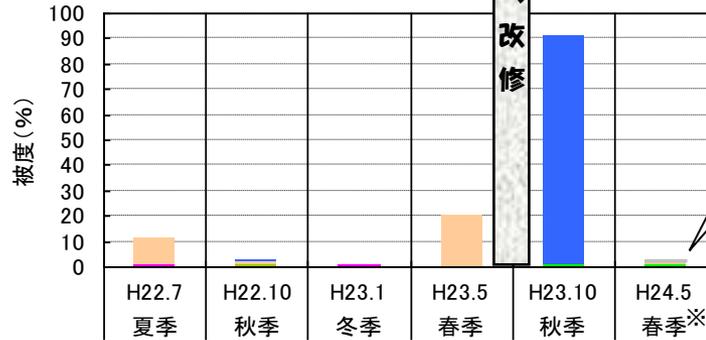
中潮帯

SL-1 (捨石工)

個体数/m²

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季※
タテジマイソギンチャク	72	24	60	80		
イソギンチャク目						
タマキビ						
アラレタマキビ	4					
イボニシ	52	12				16
異尾下目(ヤドカリ類)				12		
ケフサイソガニ						

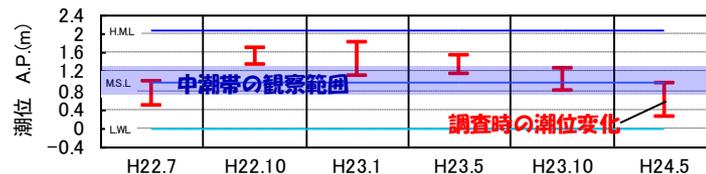
石積護岸へ改修



■ ヒドロ虫綱 ■ マガキ ■ カンザシゴカイ科
■ イワフジツボ ■ シロスジフジツボ ■ タテジマフジツボ

※H24.5は工事により石積護岸部が改変していたため、代替測線での調査結果を示す

調査時の潮位



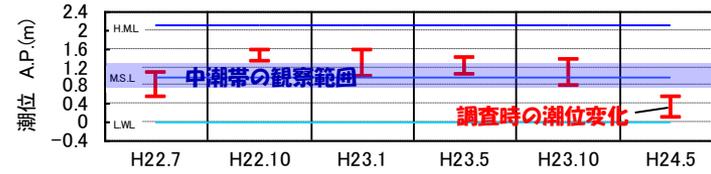
SL-2 (既設護岸: 未着手)

個体数/m²

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季
タテジマイソギンチャク						
イソギンチャク目						12
タマキビ			4			4
アラレタマキビ						
イボニシ	8	36		24	44	24
異尾下目(ヤドカリ類)		4		12		20
ケフサイソガニ		4			4	8



■ マガキ ■ カンザシゴカイ科 ■ イワフジツボ ■ タテジマフジツボ



潮間帯生物(動物)の現存量(個体数、被度)

(ベルトランセクト法による調査結果)

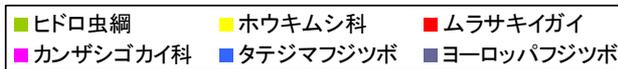
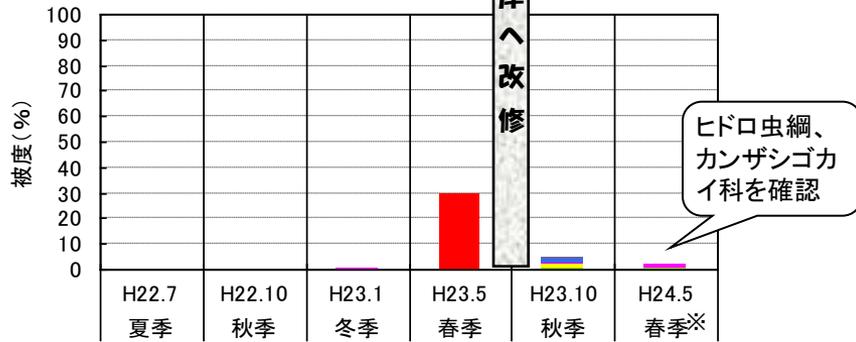
低潮帯

SL-1 (捨石工)

個体数/m²

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季※
タテジマイソギンチャク	4			40		4
イソギンチャク目			8		16	16
イボニシ				16		8
異尾下目(ヤドカリ類)						4
ケフサイソガニ						

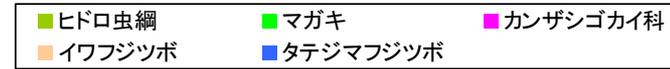
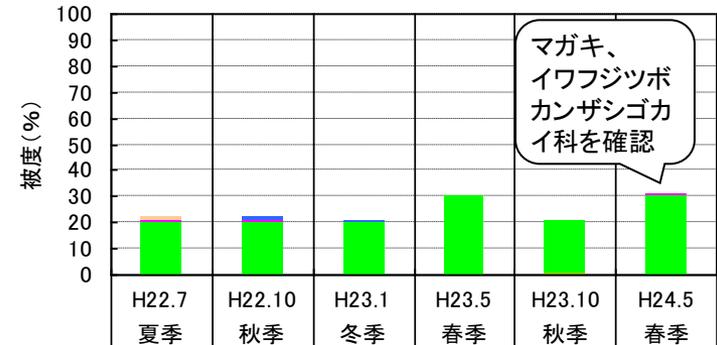
石積護岸へ改修



SL-2 (既設護岸: 未着手)

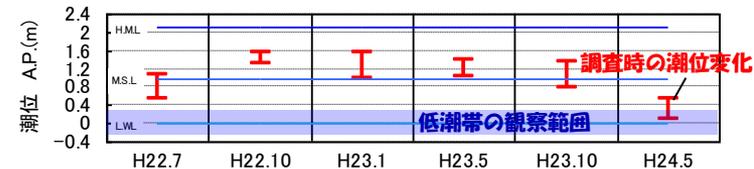
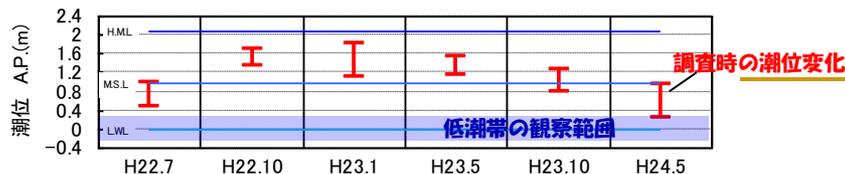
個体数/m²

出現種	H22.7 夏季	H22.10 秋季	H23.1 冬季	H23.5 春季	H23.10 秋季	H24.5 春季
タテジマイソギンチャク				16		
イソギンチャク目		4		4	12	
イボニシ	4	4	4	84	24	100
異尾下目(ヤドカリ類)			4			4
ケフサイソガニ				8		4



※H24.5は工事により石積護岸部が改変していたため、代替測線での調査結果を示す

調査時の潮位



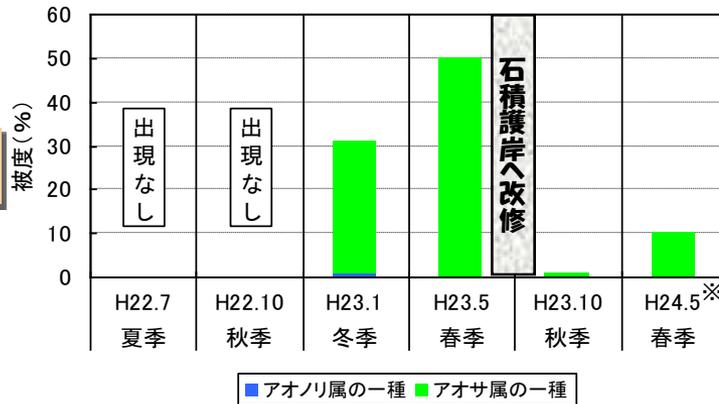
潮間帯生物(植物)の現存量(被度)

(ベルトランセク外法による調査結果)

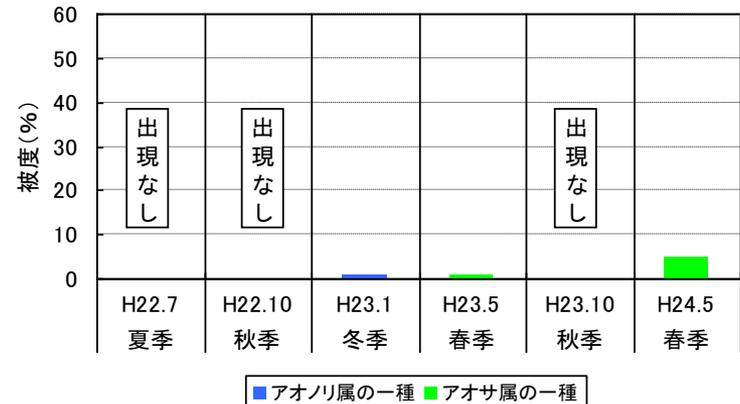
高潮帯

高潮帯は、施工前、施工後とも潮間帯植物はみられない。

SL-1 (捨石工)

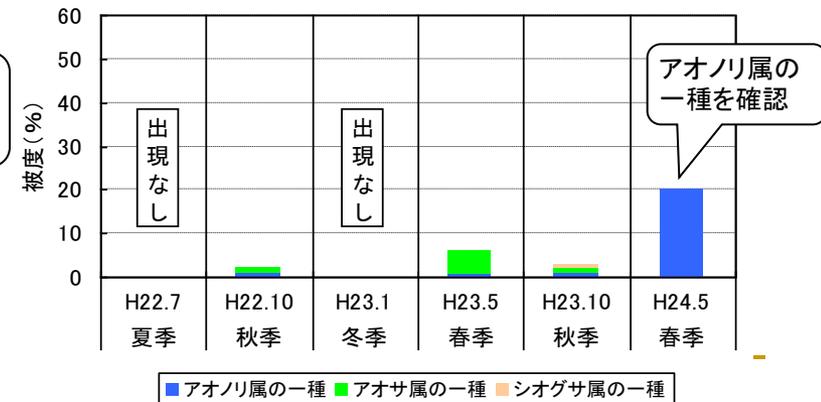
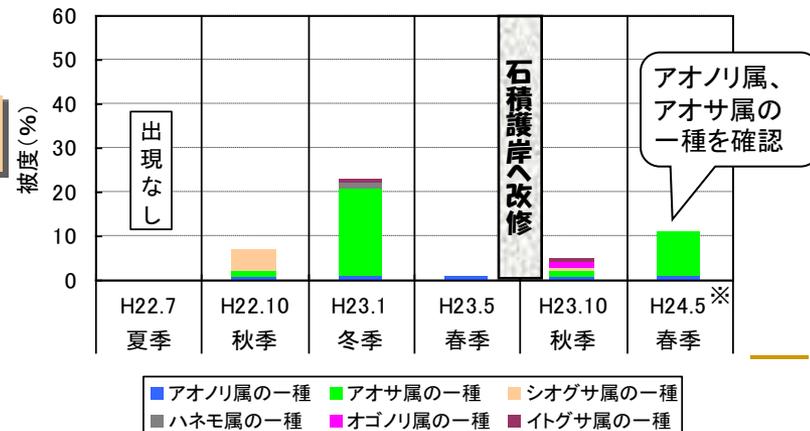


SL-2 (既設護岸：未着手)



中潮帯

低潮帯



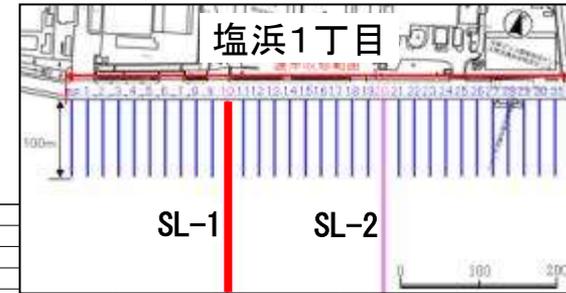
※H24.5は工事により石積護岸部が変更していたため、代替測線での調査結果を示す

参考資料

1. 地形調査結果に係る参考データ 参考- 1
2. 底質調査結果に係る参考データ 参考- 4

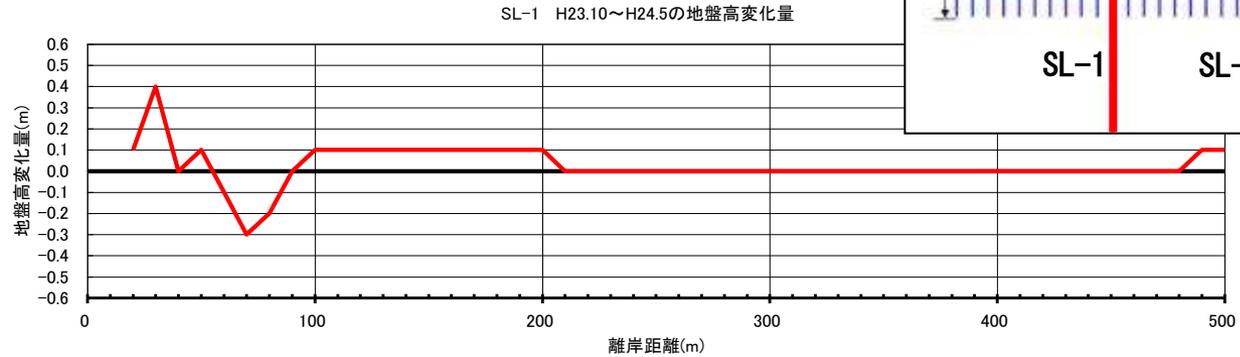
沖合い500m区間の地盤高変化

1 地形調査結果

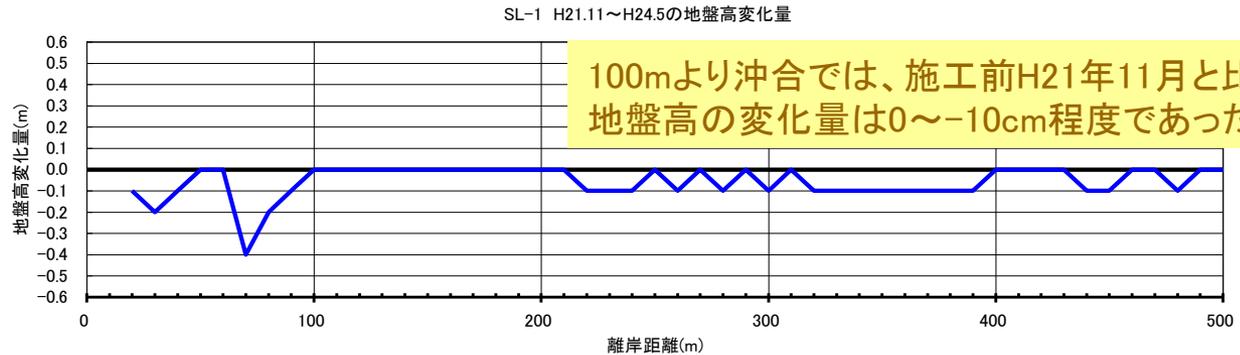


SL-1(No.10)

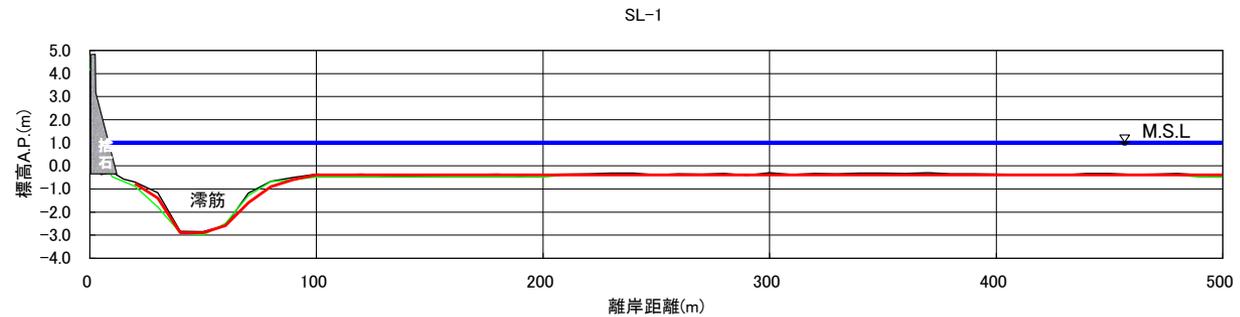
前回 H23年10月から
H24年5月までの
地盤高変化量



施工前 (H21年11月)
からH24年5月までの
地盤高変化量



これまでの横断図の
重ね合わせ



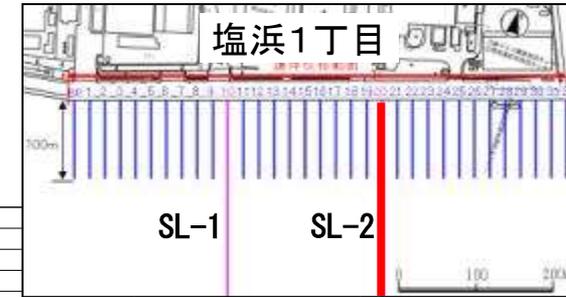
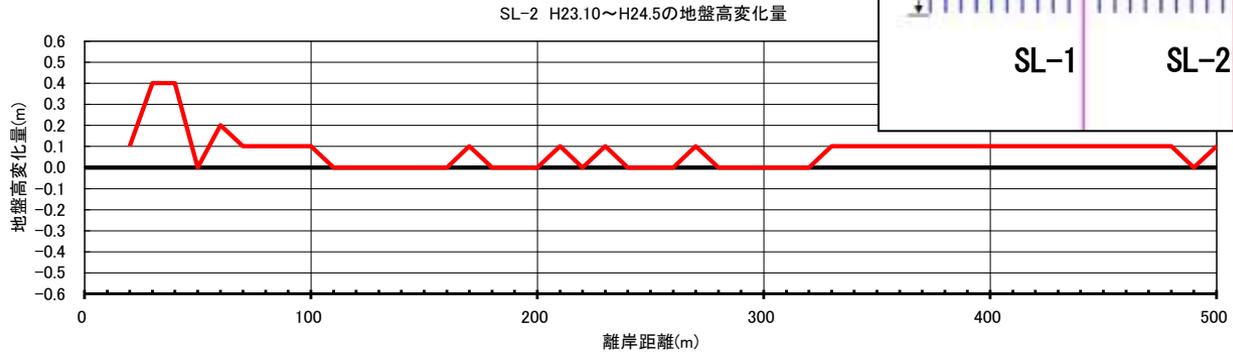
— H21年11月 — H23年10月 — H24年5月

沖合い500m区間の地盤高変化

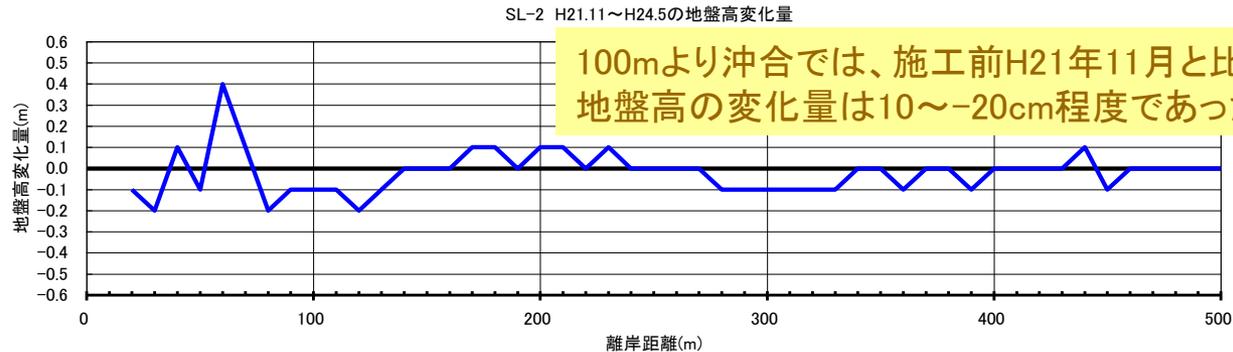
1 地形調査結果

SL-2(No.20)

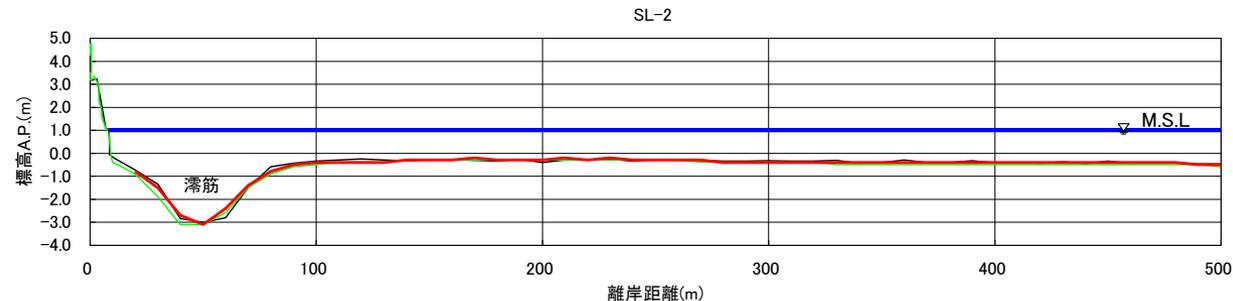
前回H23年10月から
H24年5月までの
地盤高変化量



施工前(H21年11月)
からH24年5月までの
地盤高変化量



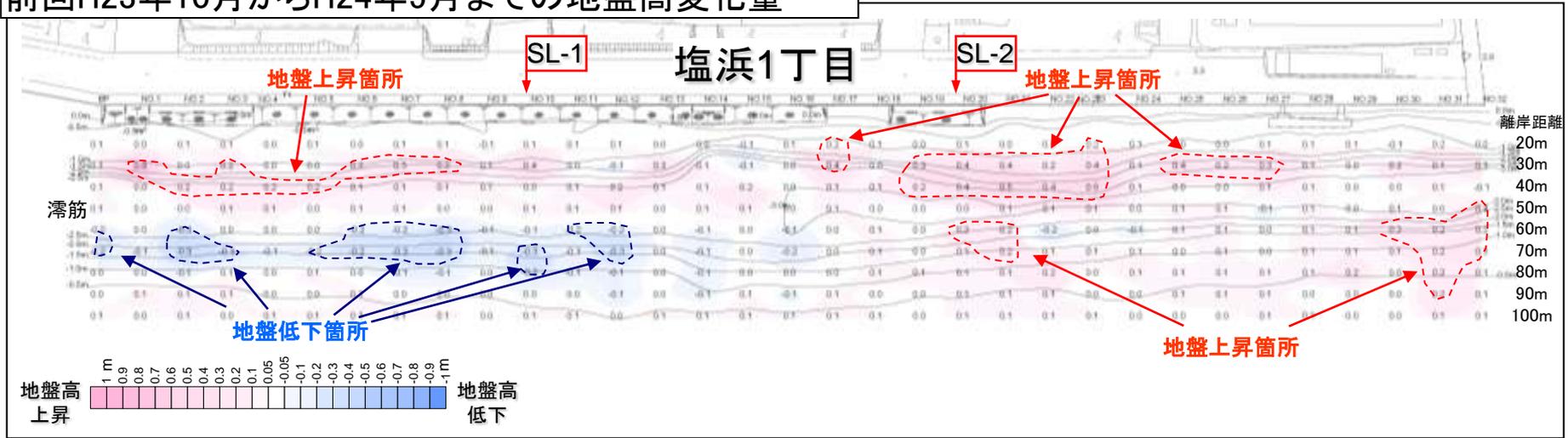
これまでの横断図の
重ね合わせ



— H21年11月 — H23年10月 — H24年5月

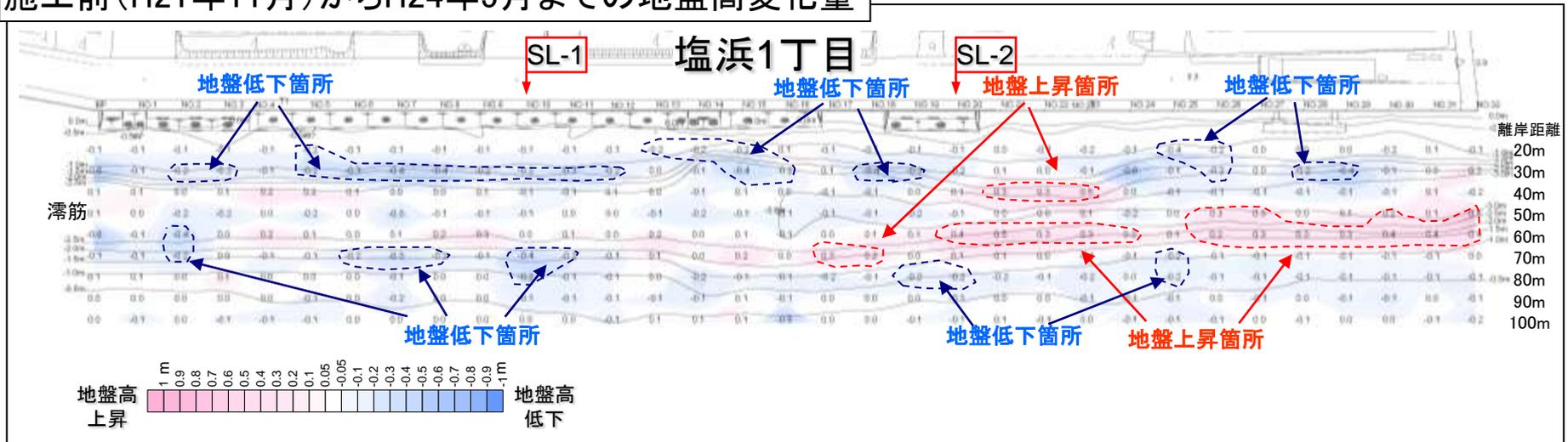
前回調査（H23年10月）からの地盤高変化量

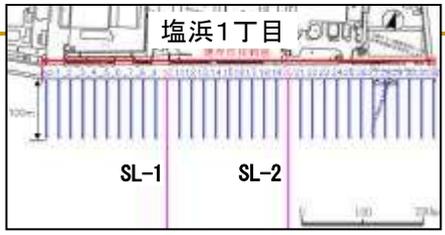
前回H23年10月からH24年5月までの地盤高変化量



等深線図:H24年5月測量

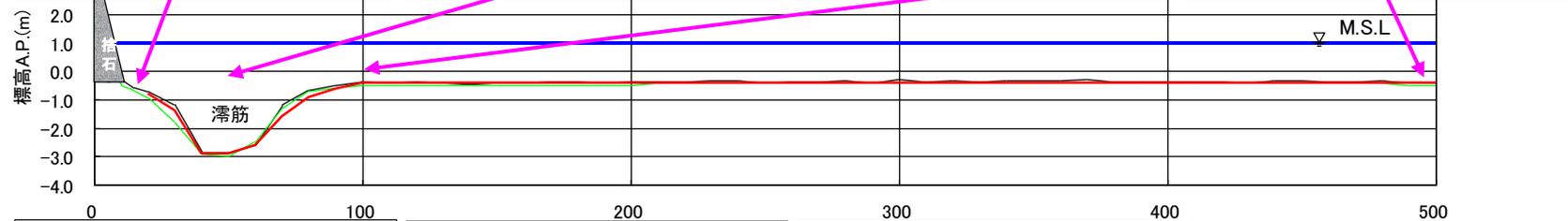
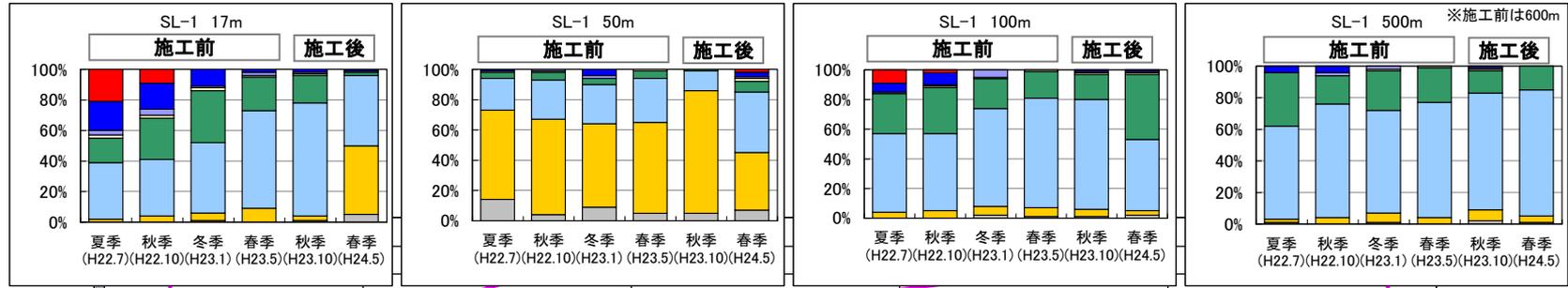
施工前(H21年11月)からH24年5月までの地盤高変化量



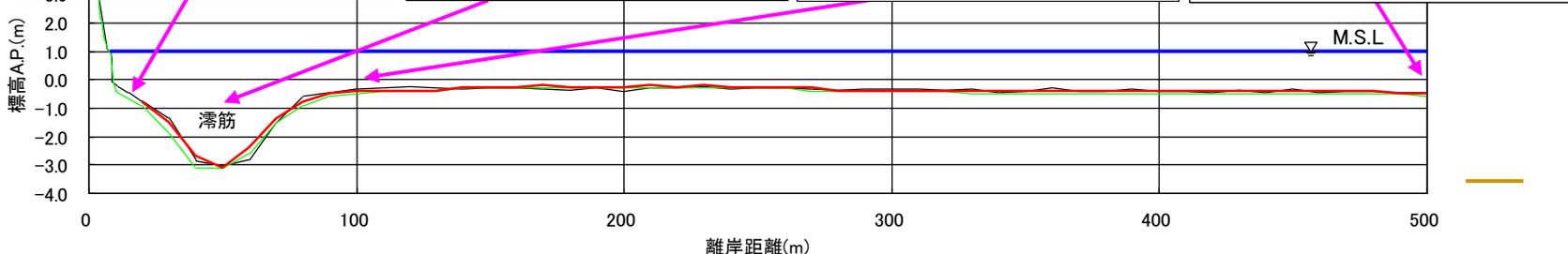
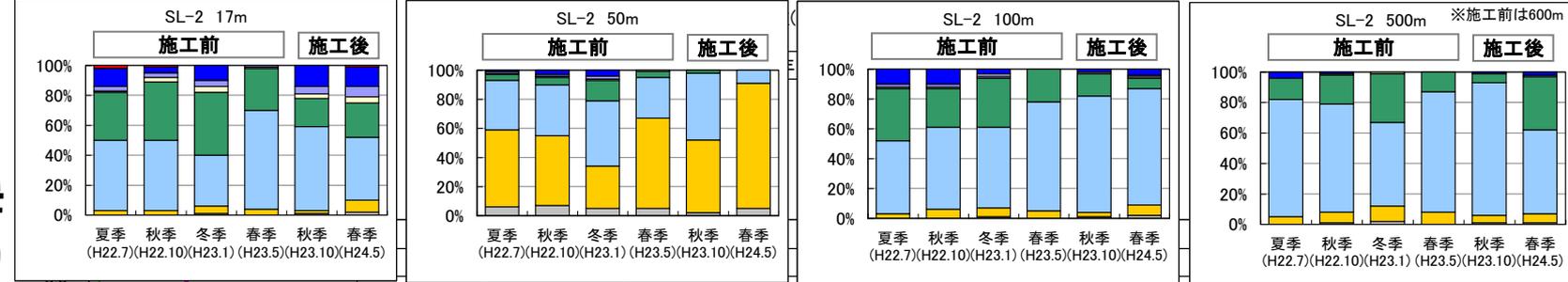


沖合い1500m区間の粒度組成

**SL-1
(捨石工)**



**SL-2
(既設護岸
: 未着手)**



- 粗礫分
- 中礫分
- 細礫分
- 粗砂分
- 中砂分
- 細砂分
- シルト分
- 粘土分

— H21年11月 — H23年10月 — H24年5月